

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) (返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (プライム市場)

### 公告の方法

電子公告  
<https://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本  
経済新聞に公告いたします。)

### 株式の手続きに 関するご案内

- ①住所変更、買取請求：  
口座を開設されている口座管理機関  
(証券会社等)
- ②特別口座に記録された株式に関する手続き：  
三菱UFJ信託銀行 証券代行部および  
全国各支店
- ③未受領配当金：  
三菱UFJ信託銀行本支店で支払

## IRメール配信サービス

代表取締役社長 大熊 克美からのメッセージを株主の皆様にお届けいたします。  
ご希望の方は当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いいたします。

ご登録はこちらから

<https://www.sra-hd.co.jp/irmail/>

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただき、当社の厳重な管理の下で保管いたします。  
個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ

株式会社SRAホールディングス 管理本部 E-MAIL : info@sra-hd.co.jp

### ■「株主通信」のWeb掲載移行（一部郵送廃止）のお知らせ

株主の皆様へお届けしている「株主通信」につきましては、昨今のインターネット等の普及および地球環境に配慮する観点から、2025年度第1四半期より、下記のとおり変更させていただきました。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

#### <単元株主の皆様（100株以上保有の方）>

第1四半期および第3四半期につきましては、ウェブサイト(Web)での掲載に移行し、郵送を取りやめました。一方、第2四半期(中間期)および第4四半期(通期)につきましては引き続きウェブサイト(Web)での掲載に加え、郵送もいたします。

#### <単元未満株主の皆様（100株未満保有の方）>

四半期に関わらず郵送を取りやめ、ウェブサイト(Web)での掲載に移行しました。

	第1四半期 第3四半期	第2四半期（中間期） 第4四半期（通期）
単元株主の皆様 (100株以上保有)	Web掲載に移行	Web掲載 引き続き郵送
単元未満株主の皆様 (100株未満保有)	Web掲載に移行	Web掲載に移行

SRA GROUP 株式会社 **SRAホールディングス**

<https://www.sra-hd.co.jp/>

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-32-8 TEL:03-5979-2666



証券コード 3817



IR REPORT

# 2026年3月期 株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日

SRA GROUP 株式会社 **SRAホールディングス**

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年3月期（2025年度）の業績につきましては、売上高は53,279百万円（前年同期比3.2%増）、売上総利益は13,743百万円（同4.3%増）、営業利益は8,244百万円（同3.8%増）、経常利益は、為替差益722百万円の計上等により、9,500百万円（同16.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、貸倒引当金繰入額や投資有価証券評価損の減少等により、5,601百万円（同65.8%増）となりました。

売上高、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも過去最高を更新しております。

当年度の配当につきましては、昨年中間決算発表時に期末配当予想を90円から100円に増額しましたが、売上高、営業利益が概ね予想水準に達したこと、また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想値を上回ったことに加え、売上高、各利益とも「過去最高」を更新したことから、更に10円増額して110円とし、中間配当金90円と合わせ年間配当金を前期比20円増額の200円といたしました。

なお、2022年10月18日公表の「配当方針の見直しに関するお知らせ」のとおり、為替差損益など実現していない損益等が原因で親会社株主に帰属する当期純利益が変動する場合等においては、その影響を考慮し配当額を決定するとしており、当年度につきましては722百万円の為替差益等があったため、配当性向は45.1%となります。

2027年3月期の配当につきましては、株主還元の更なる充実を図るとの観点から、1株当たり年間配当金を当年度に比べ20円増額の220円（内訳は中間配当100円、期末配当120円）とする計画であり、この配当を実施した場合の配当性向は50.5%の見込みです。

これからも「株主還元の更なる充実を図る」という方針のもと、「安定的な高配当」を目指してまいります。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

株式会社SRAホールディングス  
代表取締役社長 **大熊 克美**



(注) 当期のPER、PBRの算出に係る株価は当期末（3月末日）の終値を使用し、収益等は次期の業績予想値を使用しております。

## 1 技術先進性 自社開発(自社IP)製品をはじめ 国内外の優れた先進的製品を ソリューション/サービスとして提供

自社IP製品ビジネスは、粗利益率90%を狙うことができるものです。

【製品名：キャバリン】

**Cavirin\*** <https://www.cavirin.com/>

ハイブリッドクラウド用の包括的コンプライアンス、セキュリティソリューション。DevSecOpsに基づく。データセンターとマルチクラウドに対応し、統一かつ一元的にセキュリティポリシーを適用

【製品名：ユニビジョン】

**UniVision\*** <https://www.sra.co.jp/UniVision/>

「学生ポートフォリオシステム」「大学情報データベースシステム」等、ニーズの高い文教システムをWebサービスにより統合した大学事務ソリューション

【製品名：パワーグレス】

**PowerGres\*** <https://powergres.sraoos.co.jp/>

オープンソースデータベースで実績・定評のある「PostgreSQL」をベースに、データベースの操作ツールやサポートを付属した製品

【製品名：メールデポ】

**MailDepot\*** <https://www.sra.co.jp/maildepot/>

Microsoft365、Google Workspaceにも対応するコンプライアンス対策に最適なメールアーカイブ製品。高速検索・大容量対応を実現

\*自社開発(自社IP)製品

【製品名：ピーコン】

**p-con\*** <https://www.sra.co.jp/p-con/>

既存の紙の書類を「そのまま」デジタル化できるペーパーレスソリューション。電子契約・ワークフローにも対応、コスト削減・業務効率化を実現

【製品名：プロジェデポ】

**ProjDepot\*** <https://www.sra.co.jp/projdepot/>

ソフトウェア開発現場のニーズから生まれたチーム開発環境。組織においてプロジェクトを一元的に管理し、ソフトウェア資産の安全で効率的なマネジメントを支援

【製品名：テストデポ】

**TestDepot\*** <https://www.sra.co.jp/testdepot/>

組込みソフトウェア開発において、従来、人手を掛けて行っていたテスト作業(設定・操作・確認)の自動化支援ツール。実機を含め、統合的でシームレスなテスト環境構築を実現

【製品名：テストブリッシュ】

**Testablish\*** <https://www.sra.co.jp/testablish/>

GUIアプリケーションのテスト自動化支援ツール。ツール上でテストケースを作成し、仕様書とSeleniumコードを自動生成することにより、テスト自動化を実現

【製品名：ヘルスプレイヤー】

**HEALTHPLAYER\*** <https://www.sra.co.jp/healthplayer/>  
<http://www.healthplayer.net>

注目のデジタルヘルスビジネスをトータルに支えるマルチプラットフォーム。先進技術をベースに、様々なヘルスケアデータの取得と分析に対応 (株)ブラクテックスと共同で開発・提供

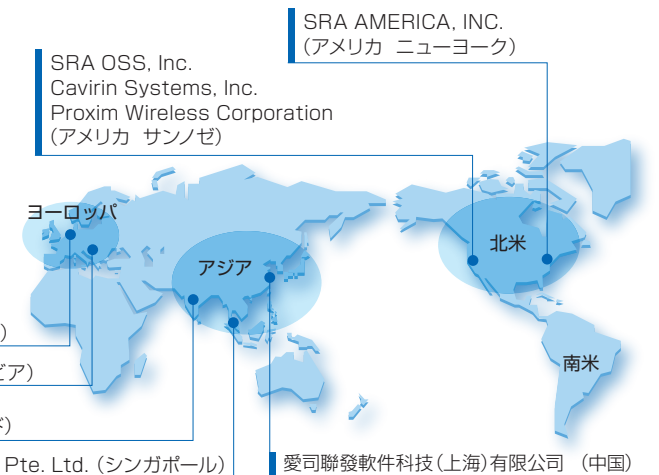
## 2 グローバル・リーチ グローバル展開を図るお客様に国際競争力強化に直結するサービスを提供

SRAグループの海外拠点(アメリカ、ヨーロッパ等)の実績・ノウハウと「グローバル・リーチ」を活かし、海外ビジネスを推進している日系企業ならびに現地企業のお客様はもとより、これから海外市場に進出されるお客様に対しても国際競争力強化に直結する各種サービスを提供しています。

また、IT技術の進展と先々のニーズをいち早く捉え、市場優位性のある技術やサービスを有する海外企業と業務・資本提携を行うなど、国内外のお客様へのサービス拡充も図っています。

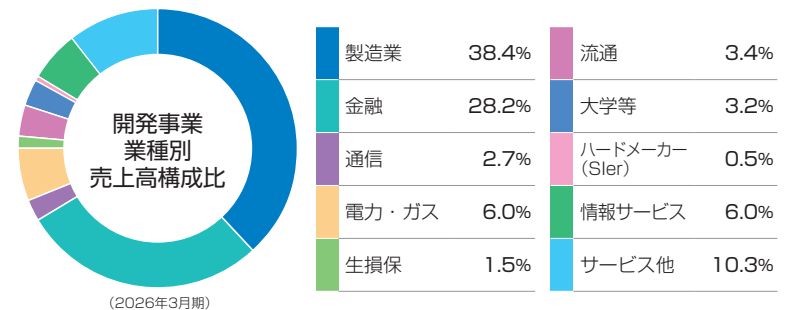
### 所在地別セグメント情報

所在地別セグメント	売上高			
	前期 2024年4月1日 ~2025年3月31日	構成比	当期 2025年4月1日 ~2026年3月31日	構成比
海外	2,350百万円 (11,772千ドル)	4.6%	2,217百万円 (11,224千ドル)	4.2%
日本	49,267百万円	95.4%	51,062百万円	95.8%



## 3 優良顧客基盤

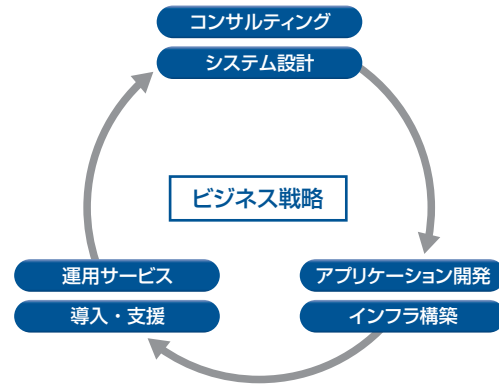
各業界(銀行・証券・製造等)におけるリーディングカンパニーをはじめとする大企業・中堅企業のお客様の成長戦略の推進ならびに国際競争力の強化に貢献しています。



デジタルトランスフォーメーションを支えるAI、クラウド、ビッグデータ/アナリティクス、セキュリティ、さらにその総合技術であるIoTなどの先進技術と、当社グループが長年培ってきた基礎技術を組み合わせ、各業界のリーディングカンパニーであるお客様に対し、独立系のニュートラルな立場でデジタルビジネスを成功に導く、新しい「価値」を提供しています。

また、グローバル化に伴うビジネス/システムの拡充についても欧米・アジアの各拠点の優位性を活かしたサービスを展開しています。

さらに、クラウドコンピューティングの普及に伴いますます高まるセキュリティとコンプライアンスに対する要求に対し、高い技術力と長年にわたる経験、信頼に基づく運用サービスも提供しています。

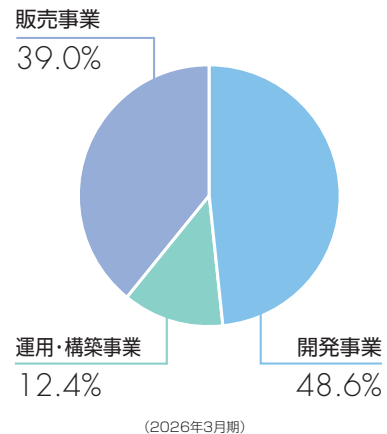


- ### システム構築
- 金融ITサービス
  - 組込ITサービス
  - 文教ITサービス
  - 業務システム構築
  - インフラ構築 (ネットワーク、サーバ等)
  - コンサルティング

- ### 運用サービス
- アウトソーシングサービス (構築・リモート監視等)
  - インフラ運用サービス (ネットワーク、サーバ等)
  - システム運用サービス

- ### 製品・ソリューション
- 内部統制、クラウドセキュリティ
  - AI
  - BI
  - オープンソースソフトウェア
  - 文教
  - 開発支援、システム品質
  - ヘルスケア

セグメント別売上高構成比



<b>開発事業</b>	SRAの強みである「先進技術力」と長年の実績に基づく豊富な業務知識・ノウハウを活かし、金融・製造/組込・文教など幅広い分野のお客様に対し、IT戦略を成功に導くシステムを提供しています。
<b>運用・構築事業</b>	強固なセキュリティや安定稼動が必須とされる大企業・中堅企業や先進技術への関心が高い国公立大学・私立大学に対し、システム運用サービスおよびインフラ構築・運用サービスを提供しています。
<b>販売事業</b>	実績豊富なUNIXサーバ等のハードウェア製品、SRAの研究技術に基づく自社IP製品、海外・国内の先進的製品を販売するとともに、付加価値の高いソリューションとしても提供しています。

An infographic showing various business fields with callout boxes listing specific services and products. The fields include:

- 製造/組込IT (ビジネスユース)**
  - FA機器、工作機械、自動倉庫
  - 放送局向け機器
  - デジタルシネマ
  - 映像配信システム
  - カラオケシステム
  - POSシステム
  - 医療用検査機器・測定機器
- ヘルスケア**
  - デジタルヘルスサービス「HEALTHPLAYER」
- 文教IT**
  - 総合文教ソリューション
  - 「UniVision」
    - 学務・入試・会計システム
    - 通信教育
    - 就職システム
    - 学生ポートフォリオ
    - 医療・看護系学生ポートフォリオ
    - 大学情報データベースシステム
  - キャンパスネット
  - インフラ構築・運用サービス
- 金融IT**
  - 都銀・地銀・信託：勘定系・情報系・市場系システム
  - 証券会社：資産運用系システム、オンライントレードシステム
  - 生損保：基幹・業務系システム
- 企業・業務IT**
  - 物流システム
  - 会計システム
  - 生産管理システム
  - 販売・在庫管理システム
  - 顧客管理システム
  - 人事・基幹システム (電力・ガス・鉄道・航空等)
  - インフラ構築・運用サービス
- 製造/組込IT (パーソナルユース)**
  - デジタル家電 (TV/レコーダー、オーディオ機器、パソコン、高性能ゲーム機器)
  - モバイル (スマートフォン、タブレット)
  - 複合機、プリンター
  - カーナビ、車載システム
  - ホームセキュリティ
  - ホームエネルギーマネジメントシステム
- ハードウェア**
  - UNIX、Linuxサーバ製品 他
- 製品・ソリューション**
  - クラウド対応運用管理「Cavirin」
  - オープンソースDB「PowerGres」
  - メールアーカイブ「MailDepot」
  - テスト自動化「TestDepot」「Testablish」
  - ワイヤレス関連製品 (Proxim) 他

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 2026年3月31日現在	前期末 2025年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	35,973	38,516
固定資産	15,946	12,932
有形固定資産	199	169
無形固定資産	795	734
投資その他の資産	14,951	12,028
資産合計	51,920	51,448
<b>負債の部</b>		
流動負債	14,037	16,643
固定負債	3,851	3,701
負債合計	17,888	20,344
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,443	27,243
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	5,471	5,471
利益剰余金	26,055	22,854
自己株式	△2,083	△2,083
その他の包括利益累計額	3,160	3,561
新株予約権	0	0
純資産合計	34,031	31,103
負債・純資産合計	51,920	51,448

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2025年4月 1日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月 1日から 2025年3月31日まで
売上高	53,279	51,617
売上原価	39,536	38,437
売上総利益	13,743	13,179
販売費及び一般管理費	5,498	5,238
営業利益	8,244	7,940
営業外収益	1,385	490
営業外費用	129	304
経常利益	9,500	8,126
特別利益	12	86
特別損失	225	1,812
税金等調整前当期純利益	9,286	6,401
法人税等	3,558	2,963
親会社株主に帰属する当期純利益	5,601	3,377

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2025年4月 1日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月 1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,699	5,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,816	△264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,436	△1,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	84
現金及び現金同等物の増減額	486	3,691
現金及び現金同等物の期首残高	19,738	16,047
現金及び現金同等物の期末残高	20,224	19,738

SRAホールディングスは、「株主還元のさらなる充実」を重点施策のひとつとし、2007年度より継続して取り組んでおります。2025年度（2026年3月期）の1株当たり配当金は、期末配当金を110円とし、中間配当金90円と合わせ、200円としました。

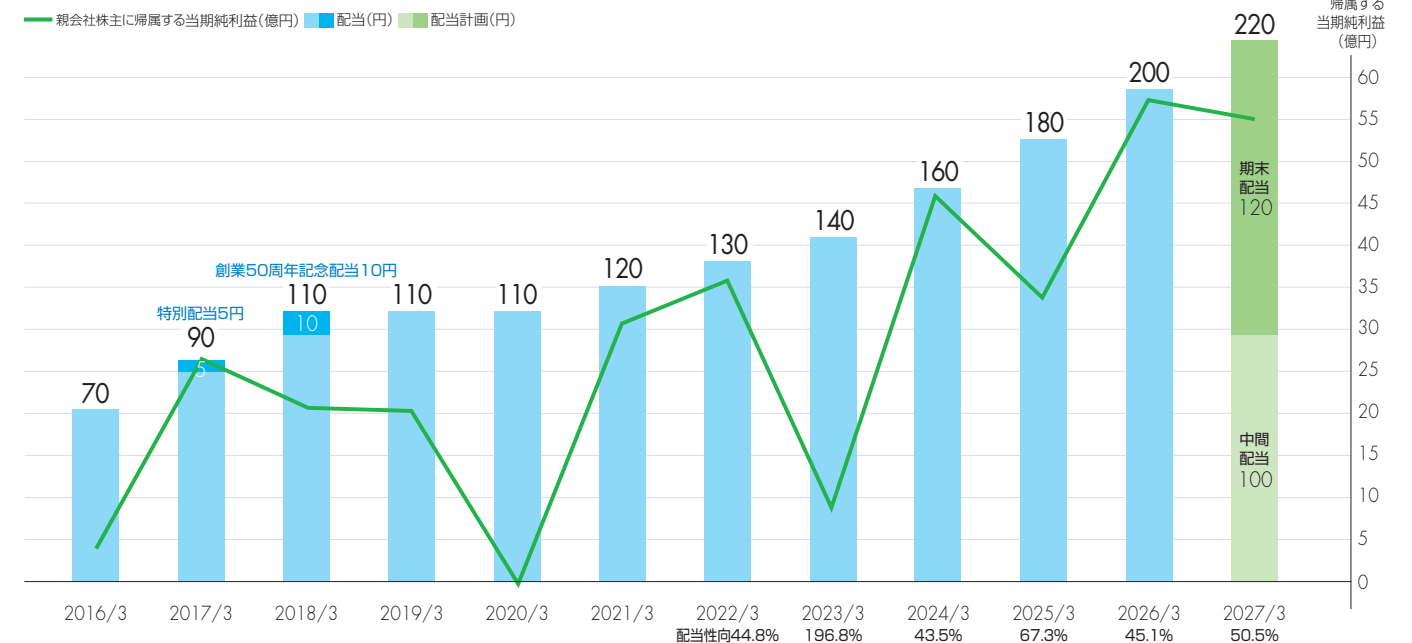
2026年度（2027年3月期）配当金については、「配当性向50%を目途に、安定的な高配当を目指す」という株主還元方針のもとに、1株当たり年間配当金220円を計画しております。また、当社では、株主資本の効率的活用の指標であるROE（自己資本当期純利益率）を安定的かつ継続的に10%以上確保する（2004年度から目標として設定）ことも目指しております。

SRAホールディングスは、今後も株主の皆様からのご期待に応えるべく、企業価値の向上ならびに株主還元のさらなる充実を目指し、収益性の高い事業を推進してまいります。

2026年3月期：年間配当金 **200円**

2027年3月期（計画）：年間配当金 **220円**

親会社株主に帰属する当期純利益と1株当たり配当金の推移



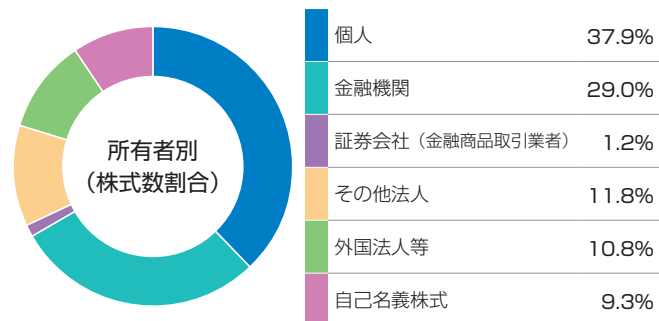
## 株式の状況

発行可能株式総数	60,960,000株
発行済株式総数	15,240,000株
株主数	46,543名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,984	13.0
株式会社SRAホールディングス	1,415	9.3
株式会社SRA	1,190	7.8
第一生命保険株式会社	564	3.7
株式会社三菱UFJ銀行	560	3.6
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	466	3.0
藤原 園美	450	2.9

## 株式分布状況



## 会社概要

商号	株式会社SRAホールディングス SRA Holdings, Inc.
本店所在地	東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日	1991年1月28日
資本金	10億円
主要な事業内容	システムの開発事業、運用・構築事業および販売事業を営む事業会社の統括管理
従業員数	1,398名
会計監査人	太陽有限責任監査法人

## 役員 (2026年6月25日現在)

代表取締役会長	鹿島 亨
代表取締役社長	大熊 克美
取締役	平田 淳史
取締役	内田 裕之
取締役 *1 *2	成川 匡文
取締役 *1 *2	大橋 弘隆
取締役 *1 *2	藤原 豊
取締役 *1 *2	藤本 雪奈
取締役 *1 *2	大越 いづみ
常勤監査役 *1 *2	山際 貞史
監査役 *1 *2	北村 克己
監査役 *1 *2	上野 貴弘
常務執行役員 グループ最高技術責任者(CTO) 先端技術研究所長	石曾根 信
執行役員	市田 尚宏
執行役員 財務経理統括責任者 管理本部 財務・経理部長	小林 俊昭
執行役員 サステナビリティ統括責任者 管理本部長 IR・PR室長	松野 善方
執行役員 コンプライアンス統括責任者 管理本部 総務部長	平 磯 正之

\*1. 社外役員 \*2. 独立役員

## 新たなスマートグラス・ソリューション “WIS (ウィズ)”

株式会社SRAでは、ハードとソフトの融合による新たなサービス “WIS (Wearable Inspection Service)” の提供を開始しました。これは、ウェアラブル・デバイス (スマートグラス) やカメラといったハードとアプリケーション・ソフトを組み合わせることで、製造現場等における生産性の向上を実現するものです。

具体的にはカメラによる画像診断によって得られた点検作業の正誤判断結果や、その他製造過程で必要な情報を、AIを活用しつつ、作業者が装着するスマートグラスの画面に映し出すことで、作業の正確性や効率性を大幅に改善することを可能にします。すでに、複数の大手製造業で導入が始まっており、例えば国内自動車メーカー様では、実利用に向け難聴作業支援の実証実験 (PoC) が進んでいます。また、職業能力開発総合大学校様でも導入されており、作業の適否表示やアドバイスもできるなど、企業以外のお客さまのご利用にも広がりを見せています。

スマートグラスは、スポーツサングラスやスノーゴーグルブランドの “SWANS” や産業安全のための保護ゴーグル等を展開する山本光学様とSRAで共同開発した “Versatile” を採用しており、「高性能」と「軽さ」「見やすさ」「装着感の良さ」を高いレベルで両立しています。

SRAでは、今後もお客様の課題解決に資するよう、新たな商品・サービスの開発・提供に努めてまいります。

(ご参考)

WIS <https://www.sra.co.jp/wis/>

Versatile <https://yk-yamamoto.co.jp/category/versatile/>

(関西万博でも出展 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000091.000030460.html>)

## 第36回定時株主総会決議ご通知

詳細はこちらをご覧ください。



2026年6月25日開催の当社第36回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

### 決議事項

#### 第1号議案 取締役9名選任の件

本件は、原案どおり鹿島 亨、大熊 克美、平田 淳史、内田 裕之、成川 匡文、大橋 弘隆、藤原 豊、藤本 雪奈および大越 いづみの9氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、成川 匡文、大橋 弘隆、藤原 豊、藤本 雪奈および大越 いづみの5氏は社外取締役であります。

#### 第2号議案 監査役3名選任の件

本件は、原案どおり山際 貞史、北村 克己および上野 貴弘の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、全員が社外監査役であります。

#### 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり佐藤敦史氏が選任されました。

以上

### 報告事項

1. 第36期 (2025年4月1日から2026年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

2. 第36期 (2025年4月1日から2026年3月31日まで) 計算書類報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

記